

- 会期……………二〇〇九年一月七日(水)～一月十七日(土) ※期間中休みなし
- 開場……………午前九時三十分～午後五時(入場は午後四時三十分まで)
- 料金……………大人 五〇〇円 中高生四〇〇円 小学生三〇〇円
- 会場……………立命館大学衣笠キャンパス以学館地下多目的ホール 京都府京都市北区等持院北町五八
- 主催……………立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所／東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
- 協力……………TEL 075-813-5530 e-mail:tojyomoj@st.tsunee.ac.jp URL: http://www.tsunee.ac.jp/acd/tek/sc/si/index.html
- 後援……………文字鏡研究会・有限会社エムズ 京都府教育委員会・京都市教育委員会



「この東アジアにおいて最も特徴的なことは、漢字を共有し、漢字文化を共有しながら、それぞれの民族が、また独自の文化を発展させてきたという事実である。そこに共通の価値観というべきものがあつた。その価値観が東洋の精神を生む母胎であつた。白川静『回思九十年』」

漢字は、言うまでもなく、中国を代表する文化の一つです。日本を含む東アジアも、この文化に強い影響を受けました。中国周辺の諸民族のあるものは漢字を受容し、あるものは漢字を自国流に変容させ、また、あるものは、民族独自の文字を保ちました。文字というものは、文化と文化のせめぎ合いのひとつといふこともできます。

この企画展は、単に漢字の歴史や変化をたどるだけでなく、漢字に影響されて誕生した文字、漢字と接触するエリアにありながら、独特の字形を保持した文字なども集めました。「ひらがな」や「カタカナ」を創り出した私たちにとっても、漢字圏の「非漢字」の多様性は、驚きに満ちたものとなるでしょう。漢字と漢字を取り巻く東アジアの文字周遊。そしてその姿を実証しようとした白川静の世界へ、皆さまを「招待いたします」。

- 立命館白川静記念東洋文字文化賞立命館白川静賞記念講演会
 〔場所〕衣笠キャンパス本川記念会館講義室
 〔日時〕二〇〇九年一月十一日(日) 十五時～十七時(予定)
 〔内容〕記念講演会・漢字字体規範「夕べ」公芝(三)について公芝
 石塚晴通(北海道大学名誉教授)・漢字字体規範「夕べ」編纂委員会
 (二〇〇九年第一回立命館白川静賞授賞式)
 〔入場料〕無料
- 体験型漢字講座「京都漢字探検隊③東洋文字探検隊」
 〔場所〕立命館大学衣笠キャンパス以学館地下多目的ホール
 〔日時〕二〇〇九年一月十日(土) 十四時～十五時三十分 親子の部(小学生以上) 十五時三十分～十七時 一般の部(中学生以上)
 〔参加料〕大人七〇〇円、中学生六〇〇円、小学生五〇〇円(展示会場入場料含む)

好こう

奇き

字じ

展てん

壮文字

西夏文字

トンパ文字

契丹文字

女真文字

チユーノム

白川静と東洋文字文化の世界

